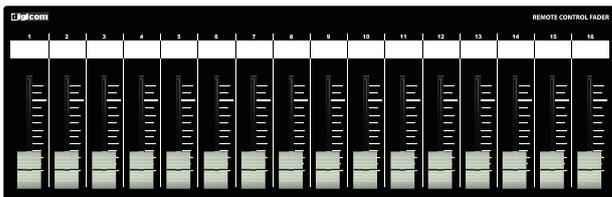




Power over Ethernet Fader for TASCAM MX-8A LF16MX-PoE

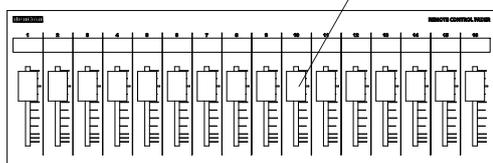
取扱説明書



LFシリーズの特徴

LF16MX-PoEはTASCAM社製品MX-8Aのミキシング機能の一部をコントロールすることが可能な設備用フェーダーユニットです。誤動作などを避けるため、ON/OFFスイッチや設定ボタンなどを搭載しておりませんので宴会場や会議室など、専任オペレータがいない場所でも簡単に扱うことができます。

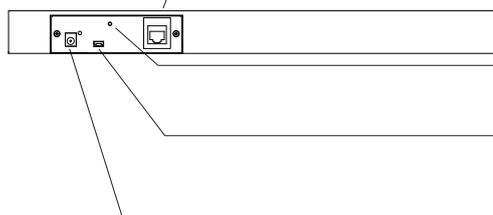
■フロントパネル



フェーダー

16ch分のボリュームをコントロールできます。
本製品はMX-8Aの通信プロトコルを使用しており、TASCAM MX CONNECT内でAREAに設定されたAreaの音量をコントロールします。

■リアパネル



RJ45端子(PoE対応)

MX-8A及びMM/MLシリーズのコントロールデータを出力します。
IEEE802.3af対応のスイッチングハブと接続することによりACアダプターが不要になります。
配線にはCAT5e以上のLANケーブルをご使用ください。

M3ネジ穴

DCプラグの抜け防止等に使用してください。

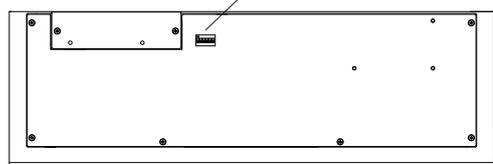
USB端子

ファームウェアアップデート用です。使用しないで下さい。

DC IN端子

接続機器がPoE給電非対応の場合は、付属品のACアダプターを接続してください。
※PoE給電を受けている場合も、ACアダプターをご併用頂いて問題ございません。

■ボトムパネル



DIPスイッチ

DIPスイッチをONにすることで、コントロールするAreaを指定します。
※DIPスイッチ3～6は本機では使用しません。

DIPスイッチ 1 = AREA1,AREA2,AREA3,AREA4
DIPスイッチ 2 = AREA5,AREA6,AREA7,AREA8

DIPスイッチ 3 = 使用しません

DIPスイッチ 4 = 使用しません

DIPスイッチ 5 = 使用しません

DIPスイッチ 6 = 使用しません

※フェーダー使用時、必ず1つのDIPスイッチをONにする必要があります。

IPアドレスについて(必ずお読みください)

LF-MXのIPアドレスは192.168.0.168に設定されており、DHCP非対応です。
初期設定でIPアドレス192.168.0.100のMX-8Aをコントロールすることができます。
LF-MXのIPアドレスを変更する場合や、コントロール先のMX-8AのIPアドレスを変更する場合は弊社までお問合せください。(お問合せ先はP4をご参照ください)

仕様

出力端子	:RJ45
伝送規格	:TCP
イーサネット規格	:10/100BASE-T
PoE受電	:IEEE802.3af
IPアドレス初期値	:192.168.0.168
IPポート初期値	:54726
電源電圧	:9V / 0.3A
付属品	:ACアダプター
塗装	:黒
サイズ	:W410×H36×D132
重量	:2.2kg

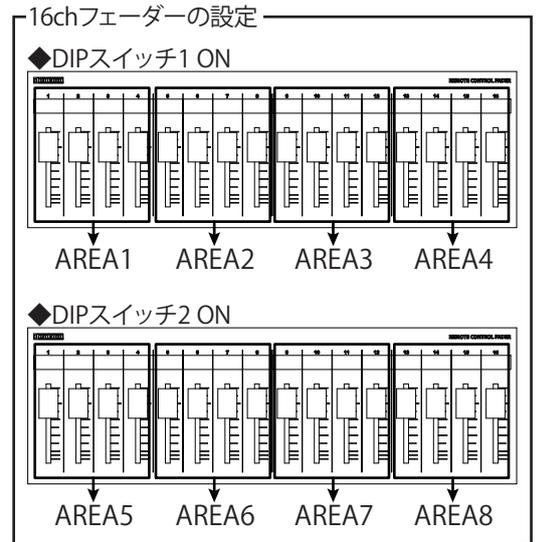
DIPスイッチによるAREA制御について

DIPスイッチの設定により、フェーダーのチャンネルを各AREAにアサインしていきます。フェーダーを使用する際には、必ず1箇所のDIPスイッチをONにしておく必要があります。DIPスイッチを複数ONにはしないでください。

ch1からAREAの若い順にアサインされ、この設定を変更することはできません。対応するAREAの設定は以下の表をご確認ください。

16chフェーダーでは、DIPスイッチ 1がONの場合、フェーダーのch1~4がAREA1に、ch5~8がAREA2、ch9~12がAREA3、ch13~16がAREA4に設定されます。

コントロールするチャンネルは、TASCAM MX CONNECT内で選ぶことができます。操作方法については、下記をご確認ください。



◆DIPスイッチ設定の対応表 ※必ず1箇所のみDIPスイッチをONにしてください。

	DIPスイッチ 1	DIPスイッチ 2	DIPスイッチ 3	DIPスイッチ 4	DIPスイッチ 5	DIPスイッチ 6
16ch	AREA1/AREA2/AREA3/AREA4	AREA5/AREA6/AREA7/AREA8	×	×	×	×

TASCAM MX CONNECTの初期設定方法

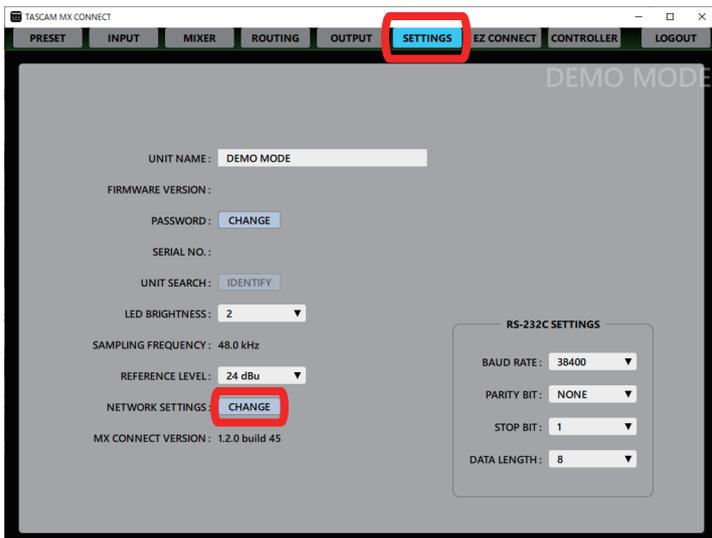
※本マニュアルはソフトウェアバージョン 1.2.0での設定方法となります。

※TASCAM MX CONNECTの初期設定およびAREA設定の完了後、パソコンは必要ありません。フェーダーとMX-8A本体のみで操作ができます。

※パソコンとMX-8A本体をLANケーブルで接続し、TASCAM MX CONNECTを使用する場合、オンライン中に、LANケーブルを抜かないでください。オンライン中にLANケーブルの抜き差しを行うと、フェーダーが正常に動作しなくなります。

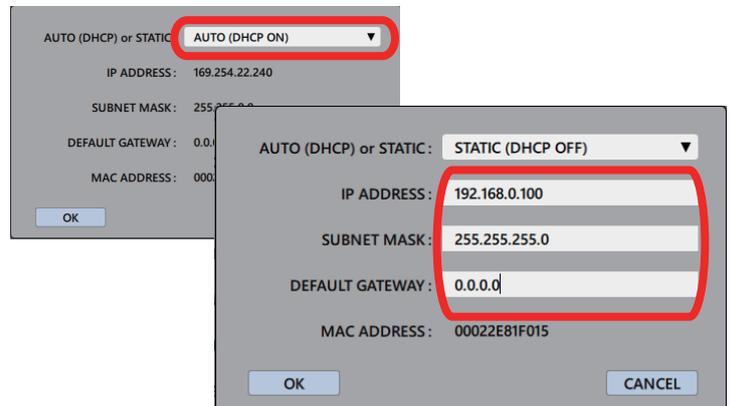
①TASCAM MX CONNECTを開きSETTINGボタンより各種設定画面を開きます。

NETWORK SETTINGSのCHANGEボタンを開きます。



②AUTO(DHCP) or STATICの からSTATIC (DHCP OFF)を選択しIP ADDRESS、SUBNET MASK、DEFAULT GATEWAYに以下の項目を入力します。入力が完了したOKボタンを押します。

IP ADDRESS : 192.168.0.100
SUBNET MASK : 255.255.255.0
DEFAULT GATEWAY : 0.0.0.0

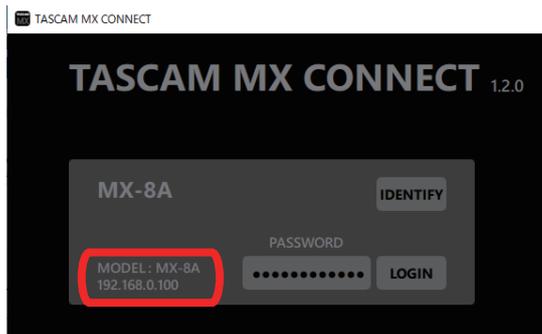


③OKボタンを押した後、画像の画面が表示されたらOKボタンを押し、TASCAM MX CONNECTのアプリを再起動してください。



④TASCAM MX CONNECTを再起動し、表示されたログイン画面に接続中のMX-8A本体が検出されたらIPアドレスの設定は完了です。

※PCのIPアドレスは固定IPに変更してください。



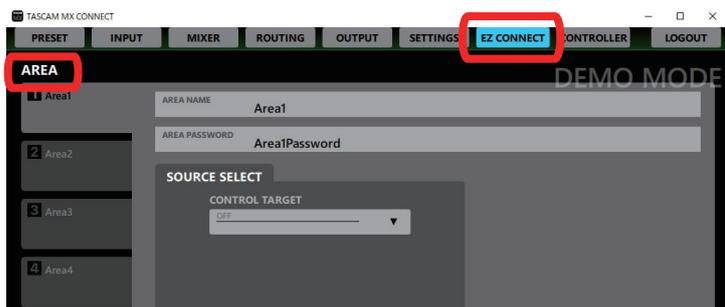
TASCAM MX CONNECTのAREA設定方法

※本マニュアルはソフトウェアバージョン 1.2.0での設定方法となります。

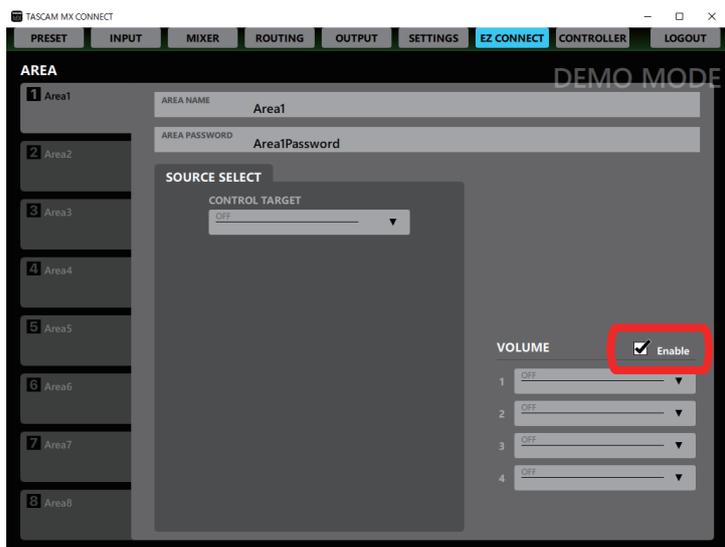
※TASCAM MX CONNECTの初期設定およびAREA設定の完了後、パソコンは必要ありません。フェーダーとMX-8A本体のみで操作ができます。

※パソコンとMX-8A本体をLANケーブルで接続し、TASCAM MX CONNECTを使用する場合、オンライン中に、LANケーブルを抜かないでください。オンライン中にLANケーブルの抜き差しを行うと、フェーダーが正常に動作しなくなります。

①TASCAM MX CONNECTを開きEZ CONNECTボタンよりAREA設定画面を開きます。



②AREA1のVOLUME EnableのチェックをONにします。



③表示されたAREA設定の1から順にコントロールするチャンネルをアサインします。
※複数のAREAに同じMIXチャンネルを設定しないでください。正常に動作しません。



④残りのAREAのVOLUMEにも好きなチャンネルをアサインすることで同様にコントロールできます。

■商品に関する注意事項

持ち運びする際、移動時に強い衝撃を与えないで下さい。
水のかかる場所や直射日光が当たる場所での長時間の使用は避けて下さい。
海浜部、温泉地帯など金属のさびやすい場所では本体や取付金具の耐久性が低下する場合がありますのでご注意下さい。
ラックマウントして扱う場合、正しく設置しないと落下する恐れがあります。
機材を引き出した状態で上下から負荷をかけますと事故や怪我の原因となります。
D-RACK1など引き出し付きの機器を収納する際、指を挟まないように注意して下さい。
万が一異音や異常、熱をおびた場合はすぐに使用を中止し電源を切り、メーカーまでご連絡下さい。

■保障に関して

本機にはシリアル番号で製造、出荷年月日が管理されておりますので、保証書は添付されておられません。
万が一、故障した場合は製造日より1年間は無償で修理いたします。

※使用方法の誤りにおける破損・故障に関しましては有償となります。また、不適切な使用や改造による故障や怪我は補償いたしかねますのでご了承下さい。

■損害に対する責任

この商品の使用、または使用不能によりお客様に生じた損害については、当社は一切その責任を負わないものとします。
また如何なる場合でも当社が負担する損害賠償額は、お客様がお支払いになった商品の代価相当額をもってその上限とします。

お問い合わせ**有限会社Digicom**

〒454-0012 愛知県名古屋市中川区尾頭橋3-11-15

TEL:052-324-8385 FAX:052-324-8386

E-Mail:info@e-digicom.co.jp

<http://e-digicom.co.jp/>